

いきっご留学レポート!

自然豊かな壱岐島で、のびのびと成長できる小・中学生向けの離島留学!

2020年度
留学生インタビュー

INTERVIEW



親子留学 きのした れいな
木下 怜南さん (石田小学校5年)

私は家族全員で壱岐に来ました。学校は楽しいです!最初は、友だちが出来るかなって不安だったけど、みんな明るくて自分と息が合うので楽しい。家では理科の実験をしたり、時間がある時は、マリナルにある石田図書館で本を読んだり、運動場で遊んだりしています。壱岐は、自然がいっぱいで周りに田んぼがあって最初はビックリしたけど、都会みたいにゴチャゴチャしてなくてのびのびして好きです。最初は不安だったけど、のどかでみんな話しかけてきてくれてとっても嬉しかったです。



里親留学 あまの だいち ひろや
天野 大知君 (郷ノ浦中学校2年)・大弥君 (盈科小学校4年)

【兄】僕は中2で静岡から弟と一緒に来ました。静岡は、自然があまりなくて人工物が多いところで…。いつも友だちとゲームで遊んでいました。壱岐に来てからはゲームをやめて、楽しみにしていた釣りとかをしています。里親さん宅で兄弟楽しく生活しています。

【弟】僕は小4です。今、盈科小学校に通っています。友だちもたくさんできて、釣りとか野球ができて毎日が楽しい。里親のお父さんお母さんは厳しいときもあるけど(笑)、とても優しいです。お兄ちゃんは僕が決まった後にお兄ちゃんも行く、となったんですよ。



親子留学 きのした ともき
木下 智貴君 (石田中学校2年)

今、中学2年生です。壱岐に来て1年半になりますが学校は楽しくやっています。今は友だちと話すことが楽しくて…部活は野球部に入っています。壱岐に来て最初の頃は、学校に行きたくない親に反抗していましたが、みんなが「おはよう!」と話しかけてくれて、優しく応援してくれるので楽しく学校に行くことができました。壱岐は、田舎だけど楽しく過ごせる所です。そして、壱岐の人はとても優しく大好きです。僕が通っている中学校の野球部は強いので、中体連で優勝し県大会でも優勝できるように頑張ります。



孫戻し留学 にしの れん
西野 蓮君 (勝本中学校1年)

勝本中学校の1年生です。部活はバレーボール部に所属しています。壱岐に来る前から運動が好きで、バレーボールは小学校からやっていました。6年生の時には部員の人数が足りなくて、女子との混合チームになりました。そのチームでは県大会2位まで行くことができましたが、もっとバレーボールに打ち込みたくて、いきっご留学をしてこの中学校にやって来ました。このクラスでは体育部の責任者も任せてもらっているし、とても充実してやりがいのある毎日を過ごしています。思い切りバレーボールをやれて毎日が楽しいです。

保護者さんの声

小5内山航士朗君のお母さん

内山 友美さん



息子は現在小学校5年生。だいぶしっかりしてきて、最近では親と出かけるより友だちと出かける方が楽しいみたいです。以前は、福岡市内の大きな学校にいたので自分の意見を言えずにおどおどした感じでしたが、今は自分から意見を言っていて、周りのみんなもそれをあたたかく聞いてくれる雰囲気がいいです。また、以前は喘息で毎年入院していたけれど、彦岐に来てからは一度も入院していません。ここでは、都会と違って周りの人たちが見守ってくれていますし、学校も学年の壁を超えて全校生徒が仲が良いって感じがいいですね。ご近所のおばちゃんを持ってきてくれる牛乳プリンが大好きなんです。

保護者さんの声

小5木下怜南さん・
中2木下智貴君の
お母さん

木下 絵里奈さん



家族全員で彦岐に来ました。離島というのがあり少し不安でしたが、福岡市には高速船で約1時間で行けるのでアクセスも良く、それはとても安心材料でした。以前住んでいたのは、平戸だったのですが、彦岐にも海があって自然があって、子どもたちがすくすく伸びるのが見えるところがいいと思っています。息子は、ちょうど小学校の卒業後に来たので、新しいところの中学校に進学するという葛藤がありました。難しい時もあったのですが、先生方がとてもあたたかく、野球を始めて友だちが声をかけてくれたので、馴染んでいくことができました。彦岐の人たちのあたたかさには本当に感謝しています。

里親さんの声

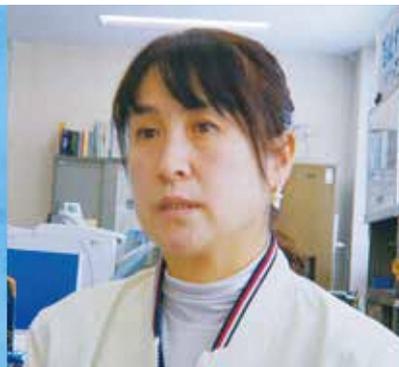
里親さん
(ホストファミリー)
齋藤 智之さん・
京子さんご夫妻



最初は、「ごはんを作るのが大変」と思っていたのが今はなんてことないです(笑)。それよりも魅力の方が大きいです。一人よりも大人数の方が良く、賑やかさ、つらい、うれしいも分かち合えることが大事です。お預かりして10日くらいは集中してその子を見るようにしています。子どもたちがどう接していくか、考え方を変えて行ったりするかを観察します。うちではみんなが私たちを「お父さん」「お母さん」と呼びます。うちの子と変わらずというのと、親として何かやってあげたいと思うんです。どんな問題を抱えていてもヒアリングをします。父母として「叱る」「褒める」をして、その後に変化を見せてくれると良かったなと思えるんです。

離島留学 コーディネーターより

離島留学
コーディネーター
大森 久子さん



いきっご留学制度は期日を設けていますが、保護者の方のご要望を聞いて対応することも可能ですので、遠慮なくお問い合わせいただければと思います。遠方からのお問い合わせは北海道や新潟からもありました。事前の見学も受け付けていますので心配も解消されると思います。以前は学校に通えなかった子どもも環境を変えることで通えるようになります。子どもは、そんな自分を親に見て欲しいと思うのですが、なかなかすくすくには会いに来れない時があります。そんな時に相談役としてケアをしています。いきっご留学の経験は、今感じられなくても大人になった時に「あっ、あの経験が今の自分にいる」と思ってもらえたら嬉しいです。

彦岐市教育長より

彦岐市教育委員会
久保田良和 教育長

彦岐市はなだらかな人口減少を迎えて、島外との交流や先を見越して、学校や地域の活性化を図るとの想いから「いきっご留学制度」が始まりました。彦岐市のいきっご留学制度は、事前見学方式をとり、保護者や本人の希望や状況を聞くことが、長続きすることになると思います。彦岐市での学校教育は独自の「生きる力を身につける教育」を実践しています。20年以上前から取り組んでいるので、生徒も授業のやり方に慣れ親しんでいます。また、彦岐市のバックアップを受けて、教育委員会、留学コーディネーター、里親、小中学校が連携してフォローしているので安心できます。困ったときには遠慮なく相談してください。環境を変えるということも大事な成長期に必要なことです。



※2021年12月に取材したものです。